



# 市議会報告

日本共産党



市議会議員  
元木美奈子

入船 4-37-14  
355-8526  
minamotonton@  
jcom.home.ne.jp



市議会議員  
井原めぐみ

東野 2-8-13  
353-4730  
i\_megumi@d8.  
dion.ne.jp



市議会議員  
美勢 麻里

北栄 2-3-16-203  
354-9269  
m5mise@jcom.  
home.ne.jp

08年7月28日第1052号  
【発行】  
日本共産党浦安市議団  
市役所内控え室(議会棟1階)  
& FAX (350)1243

平和大好き  
憲法9条は  
世界の宝

## ごみ問題 プラスチックごみを分別収集に 日本共産党

浦安市はペットボトル以外のその他プラスチックを可燃ごみとして焼却処分しています。何でも燃やせるとの安易な政策はゴミを増やすことになりかねません。日本共産党は6月議会で温室効果ガス排出抑制のためにも分別収集へ早急に切り替えが必要ではないかと質問しました。

### 温室効果ガス 公共施設全体の6割はクリーンセンター

自治体の施設で温室効果ガスを最も多く排出しているのはゴミの焼却施設だといわれています。浦安市ではクリーンセンターからの温室効果ガス発生量が施設全体の59%（平成18年度）を占めている事が6月議会の日本共産党の一般質問で明らかになりました。また、可燃ごみに占めるプラスチックごみの割合は増加傾向です。

### ごみ対応の優先順位は？

循環型社会形成推進基本法は廃棄物への対応の優先順位について、ゴミの発生抑制、くり返し使用しゴミの発生を抑制する、リサイクルによる手資源を循環させる、最後に

可燃ごみに占めるプラスチックごみの割合

年度	割合
平成 17	11.3%
18	18.0%
19	18.7%

燃料として利用する（サーマルリサイクル）を基本的立場としています。日本共産党が「その他プラスチックごみの焼却はこの法律からの逸脱ではないか」と認識を質し分別収集するよう提案。

都市環境部長は「(法は)技術的、経済的に可能な範囲で環境負荷の低減に最大限に考慮された方法で処理を行うこととしている。クリーンセンターが焼却処理による熱で発電し熱回収できる施設として位置づけられていることなどを上げ、適正処理されているとの認識を示し、分別収集については「再資源化技術の動向などを把握しながら検討する」などと消極的な姿勢を示しました。



### 「分別を基本に多面的に検討中」 一都市環境部長

日本の廃棄物による温室効果ガスの発生量(05年度)は、国立環境研究所のデータによれば4810万トン、総排出量の3.5%ですが、1990年と比べ、二酸化炭素は61.6%も急増しています。この要因はプラスチックゴミの焼却量の増加です。

日本共産党は「地球環境のゆえをめぐって世界的規模で温暖化にストップをかけるにはどうすればよいかの議論や取り組みがすすんでいる。このようなときに大切な資源であるプラスチックごみを分別もせず燃やすことは時代に逆行しているのではないかと指摘し、できるだけ早く分別収集に切り替えるよう再度要求しました。

都市環境部長は「温室効果ガスの発生が最小限ですむリサイクルについて分別を基本に多面的な検討をしている」ことを明らかにしました。市は平成18年から22年までの5年間で温室効果ガスを6%削減(平成16年比)するための地球温暖化対策実行計画を策定済みです。この計画を達成するためにもその他プラスチックゴミの分別は急務です。